

これまでの中期経営計画レビュー

Daigasグループは、人口の減少やエネルギー全面自由化等によりガス販売量が減少するリスクを踏まえ、財務基盤を強固にし、成長投資により新規事業を拡大してきました。その結果、海外エネルギー事業やライフ&ビジネス ソリューション(LBS)事業が着実に成長し、キャッシュ・フローの向上や事業ポートフォリオの強靱化を実現してきました。カーボンニュートラル潮流の加速という大きな環境変化に対し、再生可能エネルギー(再エネ)の普及貢献やe-メタンの技術開発などエネルギーのカーボンニュートラル化による社会への貢献を図るとともに、トランジション期の天然ガスの開発・発電・高度利用による利益確保などにも、迅速かつ柔軟に対応することで持続的な事業成長を図っていきます。

中期経営計画2016(2014年度-2016年度) Catalyze Our Dreams

エネルギー全面自由化を見据え、総合エネルギー事業への進化を図りました。特にグループとしての成長を継続するため、電力、海外エネルギー、材料ソリューション等、今後成長が期待される領域を中心に積極的な事業拡大に挑戦しました。

- 家庭用および小口業務用電力供給事業に参入
- 姫路-岡山ライン、三重-滋賀ライン等、幹線パイプラインの増強による安定供給・需要開発の推進
- ガス・電力以外の暮らしのお困りごとにワンストップで応える周辺サービスの開発・強化(住ミカタ・サービス等)
- シンガポール・タイにおけるガス小売・エネルギーサービス事業の展開

中期経営計画2020(2017年度-2020年度) Going Forward Beyond Borders

エネルギーの全面自由化をはじめとした経営環境の劇的な変化を好機と捉え、時代を超えて選ばれ続ける革新的なエネルギー&サービスカンパニーを目指し、取り組みを進めました。積極的な成長投資を通じた海外エネルギー事業の利益拡大、LBS事業の着実な成長により、事業ポートフォリオを強化しました。

- 基盤会社設立等による現場機能の強化
- 再エネ事業の拡大
- 米国シェールガス開発(サビン社取得)、複数のIPP事業参画、米国フリーポートLNG基地の運転開始など、米国での事業の拡大
- 材料事業での「産業・生活・環境」に貢献する高付加価値材料の開発および販売拡大

中期経営計画2023(2021年度-2023年度) Creating Value for a Sustainable Future

持続可能な社会の実現に向け、社会課題の解決に資する価値を生み出す企業グループとして掲げた重点戦略「ミライ価値の共創」と「企業ステージの向上」を推進しました。脱炭素潮流の一層の加速や働く意識の多様化等への対応を進めました。

- 資本効率を意識した資産入替や投資など、ROICに対する意識向上
- 電力小売の拡大や広域展開によるお客さまアカウント数1,000万件達成
- 再エネ普及貢献量250万kWの目標達成
- e-メタンの社会実装に向けた実証事業・技術開発の進展
- 海外エネルギー・LBS事業の収益貢献度向上

経常利益・セグメント利益推移(国内エネルギー事業における一時的な影響(ガス事業・電力事業のタイムラグ影響)を除く)

